

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和6年度美里町児童厚生施設運営協議会
- 2 開催日時 令和6年5月15日（水）
午前9時55分から午前11時00分まで
- 3 開催場所 美里町中央コミュニティーセンター 第3研修室
- 4 会議に出席した者
 - （1）委 員 田 高 恭 子
委 員 佐 藤 浩 人
委 員 佐 藤 キ ヨ
委 員 山 口 保 広
委 員 多 田 より子
 - （2）事務局 子ども家庭課長兼児童館長 齊 藤 眞
美里児童館主幹 角 田 克 江
美里児童館技術主幹 村 上 千賀子
美里児童館技師 後 藤 仁 美
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 無
- 7 傍聴人の人数 無
- 8 会議資料 別紙参照

9 会議の概要

1	開 会
進行 村上技術主幹	おはようございます。時間より早いのですが、皆様お集まりいただきましたので、会の方を進めさせていただいてよろしいでしょうか。 本日はお忙しいところご参集いただきありがとうございます。本日進行役を務めます美里児童館の村上と申します。よろしく願いいたします。本日の会議資料を確認いたします。次第 A4 のもの、郵送させていただきました冊子をご持参されましたでしょうか。それから委員名簿、そして別途資料 1 ～ 6 となっております。足りない資料はございませんか。 それでは、ただ今から令和 6 年度美里町児童厚生施設運営協議会を開会いたします。
2	開会のあいさつ
進行	開会に当たり、美里町長 相澤清一から皆様にご挨拶申し上げます。
美里町長 相澤 清一	皆様おはようございます。雨が降りましたので、緑が一段と濃くなって、今一番過ごしやすい時なのかなと思います。今日は大変お忙しい中、美里町児童厚生施設運営協議会にご参加いただきましてありがとうございます。常日頃、皆様方には、美里町の児童厚生施設の運営並びに子ども達の健全育成の為に尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げるところでございます。 今、社会環境が変わり、子どもの環境も大きく変わっているのかなと思っております。その子ども達が健やかにこれからも明るく生活ができるように、我々もしっかりと条件を整えていきたいと思っております。そうした中で、この児童厚生施設運営というのは非常に我々にとっても大事なものだと思っております。父兄の皆様、地域の皆様も非常に関心をもっているところでございます。今日、いろいろとお話をすると思いますが、小牛田放課後児童クラブは、今年度実施設計をいたしまして、来年度に児童クラブを建設させていただきます。これでほぼほぼ収容できるのかなと思っております。 今、3 年生までの制限がございますけど、それを拡充して 6 年生まで、状況が良ければそのように進めていきたい。6 年生ごろは独り立ちしますので、なかなか施設を利用する子どもは

	少ないと思いますが、手広く広げてまいりたいと我々も思っております。また、児童館は南郷児童館と小牛田児童館がございましたが、今年度集約させていただきました。今の社会環境、利用者の状況等を鑑みながら、今後充実した施設の運用を考えながら進めてまいりたいと思っておりますのでございます。なにより、子ども達がしっかりと安心して放課後も過ごせるように、子ども達がいきいきと生活ができるような環境を整えるのが、我々町の一番の責任だと思っておりますので、皆様方にぜひ、いろいろな観点からご進言、そしてご意見をいただければと思っております。今日はそういう面で4つの協議事項がございますが、皆様には忌憚のないご意見などをいただきながら、今後調整を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。
3	運営委員及び職員紹介
進行	本日、相澤町長は公務のため、ここで退席させていただきます。 次に、運営委員及び職員を紹介いたします。齊藤子ども家庭課長兼児童館長、お願いします。
齊藤課長	子ども家庭課長兼児童館長を務めさせていただいております齊藤と申します。よろしくお願いいたします。それでは私の方から委員の皆様のご紹介をさせていただきます。名簿の順番でご紹介させていただきますので、よろしくお願いいたします。 会 長 田 高 恭 子 様 委 員 佐 藤 浩 人 様 委 員 佐 藤 キ ヨ 様 委 員 山 口 保 広 様 委 員 多 田 より子 様 もう一人今日欠席しておりますが、会長代行といたしまして佐々木由美子様がおります。よろしくお願いいたします。 続きまして、職員の紹介をさせていただきます。小牛田児童館と南郷児童館が統合いたしまして、令和6年度から美里児童館が設置されました。美里児童館の職員を紹介させていただきます。 美里児童館 角 田 克 江 美里児童館 村 上 千 賀 子

	いします。
多田委員	資料1 ページ(3) 子育て家庭への支援ということで、「子育てに関する悩みや不安等を持つ保護者に対し、相談・援助を行い、子育てに関する情報提供を行いました」と記載されているのですが、度合いについて頻繁にあるのでしょうか。
村上技術主幹	頻繁にはないですが、特に育休中のお母様が家に一人で居ると不安が募るということで、遊びに来ていただいた時にその不安を聞き入れたり、児童館だけでなく子育て支援センターを紹介したり、不安が大きいようなお母様に関しては健康福祉課の保健師に繋ぐようにしてきました。
多田委員	分かりました。ありがとうございます。
議長	他にございませんか。では、他にないようですので、令和5年度の事業報告については協議を終了してよろしいでしょうか。 では次に(2) 令和6年度事業計画について事務局からお願いします。
角田主幹	資料に基づき説明。
議長	ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました令和6年度事業計画について、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。
多田委員	放課後児童クラブで、不動堂から青生に行くことによって、全ての希望者が入れている訳ですか。どの地区もですか。
角田主幹	令和6年度については、申請があった者は全て受け入れをしております。
佐藤キヨ委員	青生放課後児童クラブで不動堂から9人(4年生、5年生)。これはどのようにして子ども達は児童クラブに行っているのか。児童クラブの職員が子ども達が揃ったら車で送迎しているのか、それとも徒歩で児童クラブまで歩いて引率しているのですか。
村上技術主幹	教育総務課に協力いただき、不動堂小学校から出るバスと一緒に乗せていただいています。本来、不動堂小学校から出ているスクールバスは駒米地区の伊勢内科の裏の所で終点なのですが、そこから青生放課後児童クラブまで回ってもらい、乗せていただいています。
佐藤キヨ委員	安全に配慮していただいているんですね。分かりました。

議長	お祭りで高校生を巻き込むのはいいですね。これまでそういうのはなかったのですか。
角田主幹	これまでは、南郷の方で中学生ボランティアを募集して事業を実施していたことはありました。高校生は、以前はジュニアリーダーも居たようですが、今は活動をあまりしていないこともありまして、児童館の近くに小牛田農林高校がありますので、児童館の PR を兼ねてボランティアとして手伝っていただけたらということで、働きかけをこれから行います。
議長	集まるといいですね。委員さんの方から何かございませんか。ないようですので、(2)については協議を終了したいと思います。それでは、(3)についてよろしくお願いします。
角田主幹	資料に基づき説明。
	補足説明
齊藤課長	小牛田放課後児童クラブの関係で捕捉説明させていただきます。冒頭の町長の挨拶の中にもありましたが、放課後児童クラブの建設を予定しています。今年度につきましては、小牛田放課後児童クラブの実施設計を6月の議会に上程をする形で進めております。6月に補正予算として計上いたしまして、議決がありましたら、実施設計の入札の形を取っていきます。スケジュールにつきましては、6年度は7ヶ月ぐらいをかけて実施設計をしていき、令和7年の当初予算に建設費を載せて、令和7年の7月ぐらいから建設をスタートというスケジュールを進めていきたいと考えております。開設につきましては、令和8年の4月を目指して取り組んでいくようになります。 定員についてのお話がありましたが、現在、45人の定員で小牛田放課後児童クラブは運営しておりますが、それを令和8年度は45人から80人へ変更し、2クラスで保育をする形を取りたいと思います。理由としまして、以前建設した南郷と同等のクラスの建設という形で進めております。小牛田児童クラブの建設予定地でございますが、小牛田小学校のプールの南側を考えております。南側には南門がありますので、そこから出入りができるであろうというところで、小学校とお話をしておりまして、その場所がいいのではないかとというところで進めております。 施設の面積といたしましては、南郷児童クラブと同等ということで、床面積につきましては、298㎡ぐらいを考えていま

	す。教室につきましては2クラス。そこに事務室も完備いたします。駐車スペースを確保しなければならないというところで、職員分と送迎する保護者分の20台ぐらいの駐車スペースを考えております。 小学校の方から児童が児童クラブまで来る通路ですが、校庭を通る形になりますので、そちらの歩道の整備等々を考えております。 今お話したのが、小牛田放課後児童クラブの施設説明となります。よろしくお願いいたします。
議長	ありがとうございます。今のお話で何かお聞きしたいところはございませんか。
議長	新しい施設ができるということでよかったなと思ったのですが、南郷児童クラブで定員80人に対して47人ぐらいしかいないということについては、どうなのでしょう。
角田主幹	こちらにつきましては、新入学の人数に左右される部分でございます。令和5年度も45人なのですが、その前年度の3年生の児童数が多かった関係で、児童クラブの利用も多かったのですが、その学年が4年生になって退館するのがほとんどでした。その後、新入学の申請が予想より無かったこともございまして、令和6年度は47人のスタートになっております。ただ、南郷だけでなく他の児童クラブも4年生以上を受け入れている状況であります。なおさら、原則3年生までの縛りも無くなりましたので、今後4年生以上の利用が増えてくるのではないかと見込まれます。
議長	余裕があることはいいことですよね。他に意見のある方はございませんか。
山口委員	今度、新たにできるということですが、南郷に既に設置されているのと同様というところで、分かる範囲で結構なのですが、予算規模の部分について、南郷ではどのくらいかかったのかなとイメージを知りたい。
齊藤課長	事業の実施設計に掛かる部分につきましては、1千万を考えております。事業費といたしましては、概算になるのですが、だいたい1億後半から2億弱ぐらいを積算しております。ここ数年、物価がかなり上昇してきているというところもございまして、南郷を建設した時よりだいたい20%ぐらい高くなって

	きています。あくまで概算ではございますが、そのくらいの事業計画と考えております。
山口委員	ありがとうございます。
多田委員	先程、在籍人数ということで出たのですが、児童クラブの定員というのは、これから少子化で、6年生までの受け入れ体制を作ると思うのですけれども、だんだん減ってくるんでしょうか、そのようなことに関しては将来的に定員人数はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。
議長	私もそこが気になってさっき質問したんです。
齊藤課長	多田委員さんもおっしゃったように、児童の数は減少傾向にあります。資料の方に令和6年度在籍人数を記載しておりますが、不動堂放課後児童クラブは160人の定員を超えた状況で受け入れを行っております。これもあと数年すれば定員内に収まる可能性がございます。今まで低学年を中心にした受け入れを行っていましたが、今年度から6年生まで引き上げたことで、今後、高学年の受け入れがどのような形になるか、まだ見通せてない状況となっております。これが仮に、1～3年生がほぼ昨年度利用していた子ども達がそのまま持ち上がるというのが今のケースでございます。それがだんだんと3年生から4年生、5年生から6年生といった形で推移していくと推測すれば、当面は定員の維持はできるのではないかと考えております。それ以降につきましては、人数が減っていくということですので、定員の調整をしていかなければならないのかなと考えております。
議長	よろしいでしょうか。
多田委員	ありがとうございます。
議長	では、(3)については、終了してよろしいですか。(4)その他に移ります。
	(4) その他
議長	事務局からはありませんか。
角田主幹	事務局の方からはありません。
佐藤キヨ委員	昨日、大崎市鹿島台の運営協議会に関係している友人から話がありまして、鹿島台には一般児童の放課後児童クラブはあるが、ハンディのある子どもの放課後に行く場所がなくて問題になっているそうです。

	私、コロナの時に、大崎市の私立の発達障害の施設で働かないかと何回か声を掛けられていました。というのも、早期退職をしてからその施設でボランティアとして発達障害の子ども達のいろんな行事に参加していたんです。スキー場に連れて行ったり、電車に乗る練習をさせたりしていたんです。その施設で、コロナでスタッフが辞めてしまっているが、それでも障害をもっているお子さんがいるお母さんが働かないといけなくて、学校まで迎えに来て施設まで連れて行かないといけなくて、スタッフが減っているの働いてほしいと話があったんです。 鹿島台でも障害をもっているお子さんのお母さんが困っていて、放課後デイのような施設ではなく、一般児童が利用する放課後児童クラブに預けてしまうと他の子どもも居るから、どのように利用すればいいのか、美里町ではどうなの？と聞かれた。 美里では、各小学校に障害のある子どもがいらっしゃいますよね。そういう子ども達が放課後どこで過ごしているのか、それから、放課後児童クラブには直接申し込みますよね、そういう子どもの申し込みがあったのか、万が一、申込があった場合の対応とか考えがあるのかを知りたい。
議長	佐藤校長先生、何かご存知のことはありますか。
佐藤浩人委員	うちの特別支援の子達は放課後デイサービスを利用しています。お迎えが来てくれて、担任から放デイさんに受け渡す形で対応をしています。
佐藤キヨ委員	古川の放デイで、学校を回って保護者から依頼されてお子さんを迎えに行っているのですが。
校長	我が校の保護者はお迎えのサービスを利用しています。
議長	今まで、発達障害をもつ児童の放課後児童クラブの申請があったのか、あった場合についてお願いします。
村上技術主幹	発達障害を持っているお子さんの受け入れは今現在も行っております。病名が付いているお子さんも放課後児童クラブを利用されています。ただここ最近建てた不動堂や南郷の施設はバリアフリーになっているが、それ以外の施設はバリアフリーになっていない。身体的障害をもっている方の受け入れは、10年前ぐらいは受け入れをしていたが、バリアフリーじゃないと難しいということがあり、身体的障害をもっている方で申し込んでくる方はいない。放課後等デイサービスが大崎市の方で

	充実していて、田尻や町内にもあります。障害のあるお子さんをもつ保護者さんは放課後デイサービスの方に申し込まれます。ただ、自閉症や ADHD 程度でしたら受け入れを行っております。生活も一緒にしています。
佐藤キヨ委員	そういった子どもの受け入れの場合、職員はどのように対応したらいいかと研修とかはされているのか。学校には教員補助の方がいらっしゃると思いますが、その方に人によって対応が異なると聞きました。悩みや相談を受けた時に、短時間でも宮城県なら研修センターや養護学校から一時間で職員を派遣してもらって、各学校の教員補助の方を集めて研修をすれば、そこで働く人も自信をもって安心して対応できるようになると思います。 放課後児童クラブでも、短時間でも研修があった方がいいのではないかと。
村上技術主幹	放課後児童クラブでも 1 年に 1 回程度、専門知識をもった講師をお呼びして、研修を行っていましたが、コロナになってから大勢を集めて研修を行った際に、コロナが広がってしまった場合、施設の受け入れ体制が取れなくなってしまう恐れがあったので、コロナの期間中は研修、講習の開催をしていなかった。今年度からは、また改めて行っていく予定ではあります。 学校とは違って、放課後児童クラブはお迎えが来るまでゆったり待つ場所になっていますので、学校のようにこのカリキュラムをしなければならないというものがないので、遊びたくなければ遊ばなくていいし、皆と同じの部屋がうるさくて生活がしづらいのであれば、その子が安定できる静養室やホールの方に連れて行き、その子の気持ちを落ち着けさせる対応を取るようにはしていました。
議長	あとその他よろしいでしょうか。
多田委員	今のことに関連して、身体障害をもつお子さんは放課後デイサービスを利用しているとのことが、自閉症などの精神障害のお子さんは、各放課後児童クラブに何人ぐらい所属しているのですか。
村上技術主幹	各児童クラブ 5 人も居ませんが、何人かずつ受け入れをしています。
多田委員	その子を見るよう特別に職員を置くようなことはしているのですか。

村上技術主幹	その子に対して1人付けている訳ではなく、1人職員を増やしています。本来、2人で見られるところを3人体制にするような形を取っています。その子に何かあった時に1対で関われるように人員は増やしています。
多田委員	分かりました。ありがとうございました。
議長	他に意見がないようなので、協議を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。
進行	田高会長、ありがとうございました。これにて議長の任を解きます。委員の皆様もご協議ありがとうございました。 田高会長はお席にお戻りください。
6	閉会
進行	それでは、閉会の挨拶を美里町児童館長より申し上げます。
齊藤課長	それでは、閉会の挨拶といたしましてお話をさせていただきます。 本日はお集まりいただき、貴重なご意見をありがとうございます。冒頭にもお話いたしました、今年度につきましては、小牛田放課後児童クラブの開設に向けた準備をしていくというところが大きなところでございます。昨年度からご審議いただきました児童館事業につきましては、小牛田児童館と南郷児童館が統合いたしました。今年度から美里児童館が発足されました。こちらにつきましても、今年度一年、まだ確実になってないところもございますが、皆様の協力を得ながら運営に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。 簡単ではございますが閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。
進行	以上をもちまして、令和6年度美里町児童厚生施設運営協議会を終了いたします。 皆様、本日はどうもありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和6年 月 日

署名委員 _____

署名委員 _____